



笑顔あふれる学校！
中央小だより

令和8年9月号
児童数 424名
学級数 18学級



挑戦を力に、

ともに成長する2学期に！！

長い夏休みを終え、2学期が始まって2週間がたちました。学校には、子どもたちの元気な声と笑顔が戻り、少しずつ学校生活のリズム取り戻してきました。

2学期の始業式では、この夏に起きた熊本の地震や千葉での大雨に触れ、無事に過ごせる毎日が、決して当たり前なことではないということ、そして、まわりの人への感謝の気持ちと思いやりの心を大切にしてほしいと話しました。



地域の方が季節の花をいけて
くださっています。
いっしょにがんばりましょう。

そして、2学期のテーマとして、“**挑戦**”を伝えました。その際、子どもたちには、中川ひろたかさんの絵本『ロケットペンギン』（世界文化社）を紹介しました。空を飛べないことに悩むペンギンが、仲間の言葉に勇気をもらい、自分にしかできない「飛び方」を見つけていくお話です。

この絵本を通して、「人と同じでなくてもいい。自分なりのやり方で、自分にしかできないことに、一歩踏み出してみよう」と、子どもたちに伝えました。うまくいかないことや失敗することがあっても、自分でやってみようとする気持ち、その一歩を大切にしてほしいと思います。

この2週間、どの学年の教室でも、授業の中で自分の考えを伝えようとする姿や、友だちと声をかけ合いながら活動する姿など、子どもたちの小さな“**挑戦**”が見られます。

また、自分の挑戦だけではなく、“友だちの挑戦を応援する”ことも大切な“**挑戦**”です。「がんばってるね！」「一緒にがんばろうか」などと声をかけたり、友だちのがんばりを認めたりすることで、みんなが一歩を踏み出すことができます。

2学期には、日々の学習活動の他に、運動会や校外学習、夢プロなど、さまざまな活動が待っています。一人一人が安心して挑戦し、失敗や試行錯誤も大切な学びとして受け止めながら、自分なりの一歩を踏み出してほしいと願っています。

子どもたち一人一人の「やってみよう！」という気持ちを大切にしながら、教職員一同、子どもたち一人ひとりの“**挑戦**”をあたたく支えながら、「やればできた！」という達成感を積み重ねていけるよう努めてまいります。そして我々教職員自身も成長していける2学期になるよう、精一杯がんばっていききたいと思います。

保護者のみなさま、地域の方には、引き続き温かいご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



校長 森 千代子

7月・8月の様子

『夏の寺子屋』 7月21・22・23日



中央学区社会福祉協議会、青少年育成学区民会議、民生・児童委員のみなさんが、夏の寺子屋を3日間開いてくださいました。今年度は160人を超える参加申し込みがありました。2日間はお昼ご飯もいただきました。3日目は、永順寺の本堂でご住職から『あるめんどりの物語』の絵本の読み聞かせをしていただきました。子どもたちにとって大変有意義な3日間を過ごさせていただきました。中央学区社会福祉協議会、青少年育成学区民会議、民生・児童委員のみなさま、ボランティアの学生のみなさま、大変お世話になり、ありがとうございました。

『第2回学校運営協議会』 7月21日



夏休みに入り、第2回学校運営協議会を開催しました。今回は、学校運営協議会委員のみなさまと、教職員が一堂に会し、交流を深めながら、子どもたちの姿について話し合いました。これまで、委員の皆様と教職員が直接交流する機会はほとんどありませんでしたが、今回、顔を合わせて思いや願いを伝え合うことで、互いの理解を深める大変貴重な時間となりました。

交流の場では、委員のみなさまと教職員がグループに分かれ、和やかな雰囲気の中で、意見交流を行いました。子どもたちのことを真ん中に据え、“子どもたちが主語”となる話し合いを、それぞれの立場から思いや願いを出し合いました。

今回の交流を通して、学校と地域が互いの思いを知り、つながりを深める大切な時間となりました。これからも、地域の方と教職員が『顔の見える関係』を築いていけるように、つながっていきたいと思います。学校運営協議会委員のみなさま、今後ともよろしくお願いいたします。

『大津っ子未来会議～児童会・生徒会サミット～』 7月30日

『一人ひとりの笑顔と希望が輝く学校 ～未来を拓くために私たちができること～』をテーマに、各校の取り組みの発表や交流、グループ別協議が行われました。本校からも代表児童2名が参加し、いじめをおこさないために日頃から取り組んでいる活動について発表しました。他校との交流や協議においても、活発に発言する姿が見られ、有意義な話し合いになりました。今回の未来会議での学びを、2学期からの“笑顔あふれる中央小学校”に向けて、広げていってほしいと思います。



姿勢指導の取り組み



よい姿勢は、元気な体と学びの土台！

本校では、子どもたちが日々の学習や生活の中で「よい姿勢」を意識できるよう、姿勢指導に取り組んでいます。

姿勢を整えることは、単に「背筋を伸ばして、きれいに座る」ということだけではありません。よい姿勢で座ることで、落ち着いて話を聴いたり、集中して学習に取り組んだりすることにつながります。また、視力や内臓機能、筋肉や体力などにも影響を与えます。日頃から正しい姿勢を意識することは、子どもたちの健やかな成長を支えることにもつながると考えられます。

学校では、授業中の座り方や話を聴く姿勢など、さまざまな場面で「自分で自分の姿勢を整える」ことを大切にしながら、姿勢指導に取り組んでいます。保健だよりでもお知らせしておりますが、全学年教室に、下記の『中央小 よい しせい』のポスターを掲示し、また毎月担任による保健指導の時間を設けています。

また、姿勢は学校だけで身につくものではありません。各ご家庭においても、毎日の生活の中で少しずつ身につけていくものです。食事の時や、本を読んだりやテレビを見たりしている時などでも、お子さんの姿勢に目を向けていただきながら、「姿勢は大丈夫？」「背中はどう？」など、折りにふれて声をかけていただきたいと思います。保護者の方も一緒に姿勢を意識することで、子どもたちにとってもよい習慣づくりにつながります。

“姿勢を整えることは、自分の体を大切にすること”です。そして、“よい姿勢は、元気な体と学びの土台”となるものです。学校とご家庭が一緒になって、子どもたちの姿勢を整えていく力を育てていきたいと思えます。ご家庭でのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

